

2026年度 VPcamp実習プログラム

項目		記入欄		
1. 実習概要	実習機関名称	動物医薬品検査所		
	受入期間	令和8年8月24日(月)～28日(金)		
	受入人数	4名		
	受入条件(または優先事項)	5年生を優先		
	その他必要な資格	大学等で微生物学を履修済みであること		
	実施場所1名称	農林水産省 動物医薬品検査所		
	所在地	茨城県つくば市観音台2-1-22		
	実習開始日の集合日時/場所	8月24日(月) 10:00までに、動物医薬品検査所正面玄関に集合		
	集合場所までのアクセス方法	つくば駅バスターミナル2番乗り場からつくばバス南部シャトル(下り)に乗り、農林団地中央で下車。そこから徒歩5分。		
2. 実習内容	実習プログラム 詳細	概要説明	動物用医薬品の有効性や安全性を確認するための品質検査等の実習を行うとともに、承認審査等の動物医薬品検査所の業務に関する講義を行います。	
		1日目	場所	動物医薬品検査所
			午前	オリエンテーション 業務概要説明
			午後	再生医療等製品について(講義) ラボ見学・細胞観察等 ウイルス含有量試験(発育鶏卵へのウイルス接種)
		2日目	場所	動物医薬品検査所
			午前	動物薬に関する世界的取組について(講義) 動物用抗生物質医薬品及び一般医薬品の品質検査
			午後	次世代シーケンサー(NGS)の原理と種類、解析事例 DNA抽出、ライブラリ調整、NGSのラン ウイルス含有量試験(細胞の培養)
		3日目	場所	動物医薬品検査所
			午前	ウイルス含有量試験(発育鶏卵判定)
			午後	NGSデータの解析、PCを使用時のハンズオン ウイルス含有量試験(細胞へのウイルス接種)
		4日目	場所	動物医薬品検査所
			午前	鶏を用いた実習(採血、接種)
			午後	薬剤感受性試験 薬剤耐性に関する取組について(講義)
		5日目	場所	動物医薬品検査所
			午前	薬剤感受性試験(判定)
			午後	動物用医薬品を投与した動物由来の食品の安全性(承認審査～残留基準値設定までの流れなど:講義) 機器の見学 ウイルス含有量試験(細胞判定)
		注意事項		
		3. 受入決定後の連絡先	実習窓口担当者氏名	大上剛弘
			担当課	企画連絡室企画調整課
			電話	029-811-8194
			メールアドレス	nval_kikakuchouseika@maff.go.jp